

REALIZE



富田後援会 REALIZE

ニュースレター



VOL. 25 / 2018

冬号

「会員の皆様へ」 2018年を振り返って…



早いもので、本年最後のご挨拶を申し上げます。時期となりました。

まずは、本年も高橋義雄後援会長はじめ、後援会の皆様には大変お世話になりました。特に9月8日～10月24日の間、町内10会場での「町長とのふれあいの集い」では、各会場に多くの方のご参加を頂き、皆様とお会い出来た上に、私の報告などをお聴き頂き、例年同様、私にとっても大切な意義な時間となりました。誠に有難うございました。そして、会場設営、参加者への声掛けなどは、各地区の後援会の役員の方々に担って頂き、有難い限りです。

本年は町長として3期目最後の年になり、それは町長職を担わせて頂いて、12年という時が過ぎた事にもなりますので、報告内容も過去12年間を振り返る事とさせて頂きました。

簡単に申しますと、「二期目は行革」を、

「二期目は町の活性化への計画内容」を、「三期目は官民連携または町単独での諸事業が皆さんに目に見えて来た経緯」を、説明させて頂きました。

過去と重複する話もありましたが、諸事業が目に見える形となって、皆さんも更に興味深く耳を傾けて下さいました。例えば、大型ホテルの開業や町立美術館カフェの整備などで、宿泊観光客数がそれまでの年と比べ約20%増加した事、湯河原駅前広場の整備やスイーツファクトリーのオープンにより、駅周辺での観光客の滞留時間が延伸した事などです。また、子育て支援の一環としては、妊婦専用救急車を導入しての、マタニティ・サポート119事業の内容なども報告させて頂きました。取り組んで来た事業の一部に過ぎませんが、どれを取っても、これまでの皆さんからの声を自分なりに形に出来た事は、とても嬉しい限りであります。

特に、マタニティ・サポート事業については、「町内に産科病院が無いので、子供を産む事はとても心配。」との声を多く伺ったことから、何か出来無いかと職員と知恵を絞りました。その結果、根本的な解決には至りませんが、「妊婦専用救急車」を整備いたしました。出産直前の兆候を感じたなら、この「妊婦専用救急車」によって、妊婦さんの掛け付けの産科病院まで迅速に搬送する事が可能となり、このことが僅かでも安心につながれば、との思いからこの事業が誕生しました。この様に、多くの方と顔を見てお話をする事の大切さに気が付く事が出来たのも、「ふれあいの集い」からであります。

また、約2年前に湯河原中学校を移転する判断をいたしました際も、「ふれあいの集い」において、多くの方々から、ご心配の声や慎重論を頂きました。その事は今も忘れ

ておりません。その時の声が、中学校の生徒さん、先生方のご理解ご協力による毎年2回の津波に対する避難訓練の実施の継続に繋がっております。

その上でお伝えさせて頂いたこと。

中学校が移転した事により、JCHO湯河原病院の中央区内への移転(2020年春、開院予定)、防災コミュニティセンターの建設(2019年春 竣工予定)、小田原看護学校分校の整備(神奈川県の事業)と、元中学校跡地に防災拠点としての機能が集積する事となりました。

この結果が全て良かったのか、悪かったのか、は今後評価を頂く事となりますが、私はこれまで、町長という立場は、湯河原町の事について、「判断をする事」が最大の責任だと自分自信に言い聞かせて来ました。「判断をする事」、「判断をしないで先延ばしする事」この二つの考えに置いては、「判断をする事」が絶対的な責任だと考えております。そして、その前提として、前述の様に多くの方々の話に耳を傾ける事が、極めて大切であるという事を忘れてはいけません。

この様に、皆さんに改めて今の私の思いを書かせて頂きました。来年は、選挙の年となります。新聞などで既に発表させて頂いておりませんが、四期目を目指して活動させて頂き、再度、町長職を担う事が出来た際には、「情熱」を持って勤める事をお約束します。どうぞ、これまで同様の、それ以上の、ご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

二〇一九年が皆様にとって、
幸多き年でありますことと、
心よりお祈り申し上げます。

湯河原町長 富田 幸宏



今年の師走は寒い日が比較的小さいように感じられます。後援会員の皆様におかれましては、年の瀬を迎え、何かとご多忙のことと拝察いたします。皆様には、いつもながら多大なご理解、ご協力を賜り、改めて御礼申し上げます。

この1年を振り返りますと、日本全国で様々な自然災害が発生し、多くの方がその被害に遭われ、今もなお、多数の人が日常を取り戻せずにいることを考えますと、とても切ない気持ちになります。

特に、湯河原町と長い交流の歴史がある広島県の三原市が平成30年7月豪雨において、甚大な被害を受けたニュース映像には胸が痛くなる思いでした。後援会として、何か少しでも役立てることはないかと考え、

「町長とのふれあいの集い」の10会場で「お見舞金箱」を設置させていただきました。

おかげさまで、ご来場者の皆様や各会場スタッフのご厚意により、107,030円のお見舞金が寄せられ、町を通じて、三原市にお渡しすることができました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



さて、明年は町長4期目を目指す重要な年となります。富田町長は皆様方の大きな期待、町政に対する熱い思いにしっかりと応える覚悟を持って、日々、真摯に、かつ、愚直に町政運営に邁進しております。今後とも、皆様方より一層のご支援ご協力を賜りますよう、心からお願いいたしますとともに、皆様のお祈り申し上げます。

富田後援会長 高橋 義雄

2018年「富田後援会」主催イベントに際しまして

今年も各地区役員の皆様には多大なるご支援ご協力をいただき、多くの町民の方々にご参加をいただく事ができました。執行部一同心より感謝御礼申し上げます。

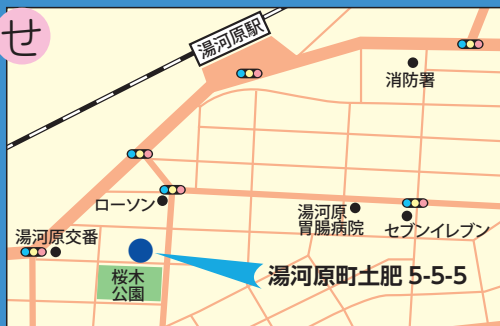
■9/8(土)~10/24(水)
「町長とのふれあいの集い」



お知らせ

後援会事務所が右記の場所に決まりました。

※開設日等詳細は後日ご案内いたします。



湯河原町長 富田後援会 会報 VOL.25 冬号

REALIZE

発行元：富田後援会事務局
〒259-0301 湯河原町中央1-1644

TEL 0465-64-0231 FAX.0465-64-0238
E-mail; info@tomita-yukihiro.com

★住所・氏名等に変更がありましたらお手数ですが、事務局までお知らせ下さい。